

## 障害福祉サービス共通評価基準 概評 [各シート共通]

### ○概 評

①非該当とした項目（放課後等デイサービス、児童発達支援については「いいえ」とした項目）の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。

#### 児童発達支援①

- 5:関わる職員全員がPDCAサイクルにのっとってしていなかったため
- 8: 第三者による外部評価は行っていないため
- 9: 忙しさのあまり研修の機会や伝達講習が前年度より行なえていなかったため
- 11: 標準化されたアセスメントシートはあってもツールとして利用しきれていないため
- 14: チーム全体では活動プログラムの立案とならず個別の担当者ごとに行っていたため
- 28: そういった活動をする機会がなかったため
- 35: 保護者の連携を提供していく支援ができていないため
- 40: 個別の対応であり公開するにはむずかしいため
- 41: マニュアルの周知が行なえていない。発生を想定した訓練が実施できていない
- 44: 保護者からの聞き取りで止まっている

#### 放課後等デイサービス①

- 4:関わる職員全員がPDCAサイクルにのっとってしていなかったため
- 7: 第三者による外部評価は行っていないため
- 10: 標準化されたアセスメントシートはあってもツールとして利用しきれていないため
- 26, 27: そういった活動をする機会がなかったため
- 32: 保護者の連携を提供していく支援ができていないため
- 37: 地域行事の支援はあるが狭く招待するなど行えていないため

### ○サービスの質の向上に向けて取り組む課題

前回までの評価において、サービスの質の向上に向け取り組む課題を設定している場合はその内容と進捗状況を、また、新たに今回の評価によって今後取り組むべき課題がある場合も、その内容を記入してください。

関連する項目	内容および進捗状況	新規 継続 終了	取り組みの期間 (○年○月から○年○月まで)
(児童発達支援) 家族支援プログラム	ペアレントトレーニングについて各保護者ごとに説明を行いながら取り組むことができた	継続	平成31年4月から令和3年3月まで
(放課後等デイサービス) 活動場所の確保	個別の部屋の設置、外出の機会の更なる確保、ダンスが踊れる環境を整えるなど変化させている	継続	平成31年4月から令和3年3月まで
(放課後等デイサービス) 職員の配置、専門性	言語聴覚士の配置はできないが、指導員の配置を手厚くし、療育に関わる時間を増やすことができてきた	継続	平成31年4月から令和3年3月まで
(放課後等デイサービス) 災害時避難訓練	ホームページやつばさ通信に掲載することはできたがまだまだ周知できていない点や内容を明確に行っていく必要がある	継続	平成31年4月から令和3年3月まで

## サービス改善計画書

策定日：令和2年4月21日  
 事業・サービス名：児童発達支援・放課後等デイサービス  
 施設・事業所名：ベストライフつばさ

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算)
(児童発達支援)  職員の研修、指導		研修の機会が減ったり、PDCAサイクルやプログラム立案が全員でなされていなかった	勉強会の月1回以上の開催、カンファレンスにおけるPDCAサイクルやプログラム立案の確認	毎月	西田政雄	
保護者へのマニュアル等の説明		施設への目立つところへのマニュアルの張り出し、発生を想定した訓練等を行っていない	マニュアル等の一括した張り出しや想定訓練などのホームページやつばさ通信への掲載を行う	随時	西田政雄	
(放課後等デイサービス)  職員の研修、指導		研修の機会が減ったり、PDCAサイクルやプログラム立案が全員でなされていなかった	勉強会の月1回以上の開催、カンファレンスにおけるPDCAサイクルやプログラム立案の確認	毎月	西田政雄	
保護者との連携		保護者との連絡ツールが電話、連絡帳、送り時のお話でしかできないことが多くゆっくり面談する機会が少なかった	午前中などを活用し面談する機会の確保と電話等の話す機会を増やしていく	随時	西田政雄	